

# きゅうしょく れきし 給食 「歴史」

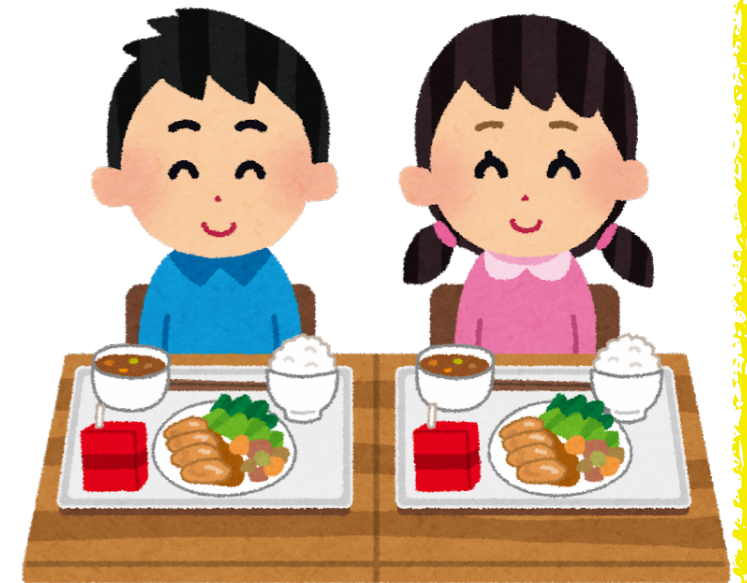
めいじ  
**明治22年**

やまがたけん べんとう も  
山形県でお弁当を持ってこることがで

きな子のために始まる。

しょうわ  
**昭和7年**

ぜんこくかくち きゅうしょく ひろ  
全国各地に給食が広がる。



**昭和19年**

せんそうちゅう こめ しる くば  
戦争中は、米やみそ汁が配られた。

# 給食「パン・ごはん・小さなおかずの歴史」

## パン・ごはん

昭和24年 まだない

昭和27年～50年

- ・コッペパン
- ・あげパン
- ・バターブレッドなど

平成1～2年 せんたくきゅうしょく 選択給食

平成3～15年 りょう 1人分の量  
ふ が増える

## 小さなおかず

昭和24年 ミルク

平成2年 なまやさい 生野菜

平成19年から

とりにく 鳥肉のあまからに



# 給食「<sup>しょつき</sup>食器の<sup>れきし</sup>歴史」

## 昭和24年～64年

ぎんざら

銀皿が使われていた。



## 平成2年～9年

きん

金の皿やさきわれスプーンが使われ

る。

## 平成9年から

げんざい

現在と同じもの





# 給食「<sup>えいようし</sup>栄養士中川さんより」

## <sup>ぎゅうにゅう</sup>牛乳パックについて

今とちがって<sup>さんかくけい</sup>三角形の形をしていた<sup>じき</sup>時期  
があった。

## そのほか

<sup>しょっき</sup>・食器はいくつかの<sup>しゅるい</sup>種類があるが、どれを使う  
かはこんだてによって決める。

・給食のこんだては栄養士さんが<sup>よこはまし</sup>横浜市の<sup>く</sup>区  
ごとで決める。

